

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年12月7日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書 (3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	小山町	代表者名	池谷晴一		
担当者部署	企画政策課	連絡先電話番号	0550-76-6133		
担当者役職	主査	担当者氏名	戸塚悠月	連絡先E-mail	
住所	410-1395 静岡県小山町藤曲57-2				

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高村 弘史
評価	よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	総務省『自治体DX推進計画』の重点取組事項である「自治体の情報システムの標準化・共通化」に関し、推進体制の構築や、国の動きを想定したスケジュール等に関して、具体的な助言を頂いた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)	活動時間 (分)
3-1. 活動	2021年12月6日	11時00分	12時10分		70
	派遣形態	講演 (オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	職員	1 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	総務省『自治体DX推進計画』の重点取組事項である「自治体の情報システムの標準化・共通化」については、令和7年度末までの対応を求められているが、スケジュールがタイトな上に、業務負担もかなり大きくなること予想されている。これに対応するために、どのような組織体制と業務管理が求められるのか、専門的な知見からの意見を頂戴したかった。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	令和7年度末までの標準化・共通化対応を完遂すべく、適切な推進体制の構築と業務スケジュールリングを行う。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	システムの現状把握、fit&gap分析、ベンダとの連携などの流れと、それぞれに取り組むべきスケジュール感について助言いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	標準化・共通化の推進と、そのための庁内DX推進体制の整備に関するヒントを得ることができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	一般職員に対するDX推進の必要性とタイムスケジュールの認識。	

アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 (個別相談のためアンケート等なし)	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	計画策定自体には予算措置はしていないが、令和3年度内の完成を目指して取り組んでいく。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
 今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

